

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月13日
【四半期会計期間】	第38期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	株式会社 アイビー化粧品
【英訳名】	IVY COSMETICS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 白銀 浩二
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂六丁目18番3号
【電話番号】	03（3568）5151（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営管理室 室長 中山 聖仁
【最寄りの連絡場所】	東京都港区赤坂六丁目18番3号
【電話番号】	03（6880）1201
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営管理室 室長 中山 聖仁
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第2四半期連結 累計期間	第38期 第2四半期連結 累計期間	第37期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	2,631,495	2,322,192	5,213,252
経常利益(千円)	330,136	202,073	511,178
四半期(当期)純利益(千円)	164,426	100,758	220,867
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	164,582	99,700	222,681
純資産額(千円)	2,773,371	2,714,691	2,831,423
総資産額(千円)	5,751,329	5,412,290	5,657,086
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	7.60	4.66	10.21
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	48.2	50.2	50.1
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	416,324	486,152	400,980
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	20,348	21,728	49,935
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	131,884	266,836	167,002
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高(千円)	819,946	797,977	1,572,870

回次	第37期 第2四半期連結 会計期間	第38期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	19.87	17.36

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界景気の減速等を背景として、弱い動きとなり、依然、厳しい状況ではあるものの、生産、輸出、設備投資、個人消費は横ばい傾向となりました。

このような状況のもとで、当社グループは企業理念「愛と美と豊かさの実践と追求」に基づき、コア事業である訪問販売領域の販売組織満足を獲得するとともに、全てのステークホルダーの満足度向上を目指し、「驚きと楽しさと感動に溢れる美しい生き方」をともに創造し、幸せと豊かさを提供する「ワンダ・フル・カンパニー」として成長すべく、企業活動に邁進してまいりました。

具体的には、コア事業である訪問販売領域においては、継続展開しております「アイビーファン10万人づくり」に向け、お客様との出会いを大切に、新規顧客紹介及び販売員拡大を軸に、販売組織の活動促進を図ってまいりました。前連結会計年度に発売し、好評を得た「アイビーコスモス Wエマルジョン クリーム」ご愛用者を含むすべてのお客様へのフォローやサービスを徹底しながら、美容液商戦への足がかりと満足向上に努めたところ、ビューティマネージャーは前年同四半期比62.3%増、営業所増設は前年同四半期比27.8%増と、販売組織拡大は、ほぼ販売システム改訂の狙い通り推移しました。さらに販売組織やお客様に当社の考え方への理解を深め、美容知識・技術を高めていただくために、販売員の育成にも継続して努めてまいりました。

当社グループの営業スタイルには仕入先行という強みがありますが、当第2四半期連結累計期間は、第3四半期連結会計期間に発売が予定されているアイビーコスモスシリーズの追加品目を軸としたスキンケア、美容液の販売強化に意識が高まり、販売組織における在庫調整もあり、美容液の初回受注は前年同四半期比89%で推移しました。第1四半期連結会計期間より変更した月次受注期間の短縮による売上高への影響、お客様に製品をお届けし、きめ細かいフォローアップを促す組織支援へのシフト、経営資源の見直しを行ったことも背景に、需要が第3四半期連結会計期間以降にずれ込みました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比減少となりました。

ロシア事業におきましては、認証制度変更の影響による遅れはあったものの、当第2四半期連結累計期間において輸出を開始することが出来ました。世界的にも化粧品市場が急成長しているロシアでの販売強化、販売拠点の拡大のために、ディストリビューター支援に努め、さらに伸長できるよう取り組みました。

損益面におきましては、引き続き販売費及び一般管理費の節減に全社を挙げて努めましたが、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、四半期純利益とも前年同四半期比減少となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,322,192千円（前年同四半期比11.8%減）、営業利益210,290千円（前年同四半期比36.8%減）、経常利益202,073千円（前年同四半期比38.8%減）、四半期純利益100,758千円（前年同四半期比38.7%減）となりました。

当社グループでは、主として第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に集中して売上高が発生するため、通常第2四半期連結累計期間の売上高は、第1四半期連結累計期間の売上高を2倍した金額と比べ著しく高くなっております。

なお、当社グループの事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益、減価償却費の計上等があるものの、売上債権の増加、法人税等の支払、配当金の支払等により、当連結会計年度期首残高に比べ774,892千円減少し、当第2四半期連結会計期間末には797,977千円となりました。

また当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は486,152千円（前年同四半期比69,827千円増）となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益202,073千円、減価償却費56,987千円、貸倒引当金の増加額7,464千円等があるものの、売上債権の増加額366,341千円、たな卸資産の増加額153,626千円、法人税等の支払額145,452千円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は21,728千円（前年同四半期比1,380千円増）となりました。

これは主に差入保証金の回収による収入13,450千円等があるものの、有形固定資産の取得による支出15,065千円、無形固定資産の取得による支出4,868千円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は266,836千円（前年同四半期比134,952千円増）となりました。

これは主に配当金の支払額214,944千円、社債の償還による支出45,000千円等があったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、107,919千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	25,520,000	25,520,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	25,520,000	25,520,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	25,520,000	-	804,200	-	343,800

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社白銀社	東京都港区南青山7-7-16	3,900	15.28
株式会社ブリーズ	東京都武蔵野市桜堤2-13-1-633	2,900	11.36
株式会社エスケービジネス	東京都港区赤坂8-10-30	1,800	7.05
アイピー化粧品取引先持株会	東京都港区赤坂6-18-3	843	3.30
安藤 視基子	東京都港区	768	3.00
白銀 真也	東京都港区	748	2.93
白銀 浩二	東京都港区	692	2.71
白銀 恵美子	東京都港区	650	2.54
アイピー共栄会	東京都港区赤坂6-18-3	519	2.03
安藤 一人	大阪府大阪市中央区	348	1.36
計	-	13,169	51.60

(注) 上記のほか、自己株式が3,883千株あります。

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,883,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 21,483,000	21,483	-
単元未満株式	普通株式 154,000	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	25,520,000	-	-
総株主の議決権	-	21,483	-

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アイビー化粧品	東京都港区赤坂6丁目18番3号	3,883,000	-	3,883,000	15.21
計	-	3,883,000	-	3,883,000	15.21

(注) 上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが実質的に所有していない株式が3,000株(議決権の数3個)あります。なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄に含まれております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東光監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,622,870	847,977
受取手形及び売掛金	1,293,923	1,660,264
商品及び製品	381,494	492,175
仕掛品	14,004	12,848
原材料及び貯蔵品	164,404	208,506
その他	162,965	156,959
貸倒引当金	22,744	8,985
流動資産合計	3,616,918	3,369,747
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	468,733	457,918
機械装置及び運搬具(純額)	52,998	60,924
土地	521,190	521,190
その他(純額)	31,091	49,851
有形固定資産合計	1,074,013	1,089,884
無形固定資産	51,281	45,389
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	279,032	276,604
差入保証金	401,721	392,650
その他	268,523	295,864
貸倒引当金	44,772	65,996
投資その他の資産合計	904,504	899,122
固定資産合計	2,029,800	2,034,396
繰延資産		
社債発行費	10,368	8,146
繰延資産合計	10,368	8,146
資産合計	5,657,086	5,412,290

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	424,014	410,262
短期借入金	800,000	800,000
1年内償還予定の社債	180,000	165,000
未払法人税等	155,339	84,484
賞与引当金	114,972	81,555
ポイント引当金	12	75
その他	388,529	410,760
流動負債合計	2,062,868	1,952,138
固定負債		
社債	640,000	610,000
退職給付引当金	88,831	90,620
その他	33,963	44,840
固定負債合計	762,794	745,460
負債合計	2,825,662	2,697,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	804,200	804,200
資本剰余金	343,800	343,800
利益剰余金	3,073,044	2,957,432
自己株式	1,269,886	1,269,949
株主資本合計	2,951,158	2,835,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,056	2,113
土地再評価差額金	118,678	118,678
その他の包括利益累計額合計	119,734	120,791
純資産合計	2,831,423	2,714,691
負債純資産合計	5,657,086	5,412,290

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	1 2,631,495	1 2,322,192
売上原価	579,060	457,299
売上総利益	2,052,435	1,864,893
販売費及び一般管理費	2 1,719,452	2 1,654,603
営業利益	332,982	210,290
営業外収益		
受取利息	2,227	1,934
受取配当金	320	410
受取賃貸料	15,233	24,587
雑収入	14,763	10,648
営業外収益合計	32,544	37,581
営業外費用		
支払利息	9,034	7,580
賃貸収入原価	21,661	29,990
雑損失	4,694	8,226
営業外費用合計	35,390	45,798
経常利益	330,136	202,073
特別損失		
会員権評価損	7,750	-
特別損失合計	7,750	-
税金等調整前四半期純利益	322,386	202,073
法人税、住民税及び事業税	151,853	80,073
法人税等調整額	6,106	21,241
法人税等合計	157,959	101,314
少数株主損益調整前四半期純利益	164,426	100,758
四半期純利益	164,426	100,758

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	164,426	100,758
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	155	1,057
その他の包括利益合計	155	1,057
四半期包括利益	164,582	99,700
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	164,582	99,700

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	322,386	202,073
減価償却費	66,730	56,987
退職給付引当金の増減額(は減少)	7,676	1,789
賞与引当金の増減額(は減少)	11,338	33,417
貸倒引当金の増減額(は減少)	7,827	7,464
受取利息及び受取配当金	2,548	2,345
支払利息	9,034	7,580
為替差損益(は益)	351	175
有形固定資産除売却損益(は益)	431	441
売上債権の増減額(は増加)	686,555	366,341
たな卸資産の増減額(は増加)	37,872	153,626
仕入債務の増減額(は減少)	43,940	13,751
未払金の増減額(は減少)	63,434	7,348
未払役員退職慰労金の増減額(は減少)	24,045	-
その他	46,124	34,978
小計	286,670	335,297
利息及び配当金の受取額	2,505	2,301
利息の支払額	9,056	7,703
法人税等の支払額	123,103	145,452
営業活動によるキャッシュ・フロー	416,324	486,152
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	3,270	15,065
無形固定資産の取得による支出	19,965	4,868
貸付けによる支出	10,000	-
貸付金の回収による収入	12,262	8,471
差入保証金の差入による支出	362	4,327
差入保証金の回収による収入	987	13,450
その他	-	19,390
投資活動によるキャッシュ・フロー	20,348	21,728
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	8,973	6,829
社債の償還による支出	15,000	45,000
自己株式の取得による支出	183	62
配当金の支払額	107,727	214,944
財務活動によるキャッシュ・フロー	131,884	266,836
現金及び現金同等物に係る換算差額	351	175
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	568,908	774,892
現金及び現金同等物の期首残高	1,388,855	1,572,870
現金及び現金同等物の四半期末残高	819,946	797,977

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ852千円増加しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

1 売上高の季節的変動

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

当社グループでは、主として第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に集中して売上高が発生するため、通常第2四半期連結累計期間の売上高は、第1四半期連結累計期間の売上高を2倍した金額と比べ著しく高くなっております。

2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給与手当	395,673千円	395,415千円
賞与引当金繰入額	90,489	72,375
退職給付費用	53,314	49,308
貸倒引当金繰入額	7,827	7,464

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	869,946千円	847,977千円
預入期間が3か月を超える定期預金	50,000	50,000
現金及び現金同等物	819,946	797,977

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当に関する事項

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	108,195	5.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当に関する事項

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	216,370	10.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは化粧品の専門メーカーとして、同一セグメントに属する化粧品の製造、販売を行っているため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	7円60銭	4円66銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	164,426	100,758
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	164,426	100,758
普通株式の期中平均株式数(千株)	21,638	21,636
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月5日

株式会社アイビー化粧品
取締役会 御中

東光監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 佐藤 明充 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 勝 伸一郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アイビー化粧品の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アイビー化粧品及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。